



お盆のお祈りは、お仏壇の前に「精霊棚(しょうりょうだな)」をおいて供養します。テーブルに白い布をかけて(昔は真菰をひいたりしていました)、その上に、果物、野菜、お菓子などをお供えします。お祈りの開始は、地域によって異なりますが、一般には12日の夜にお迎えをして(迎え火)、13日、14日、15日とお祈りするところが多いようです。北加納では10日の墓参り行事の際、お寺で「経木(きょうぎ)」を受け取り、精霊棚に「経木立て」でお祈り、お盆の始まりとしています。

※他の地域の檀家様は、お盆のお参りの際に「経木」を持参します。

経木は、15日のお施餓鬼供養の法要でお寺に持ってきていただきます。



棚の上には、お位牌、お花、御線香、ろうそくを置きます。お供えの品物は、お盆や蓮の葉などを使って両側や前に置きます。

ご先祖様が、あの世から早く帰って来て、ゆっくり戻る願いをこめて、キュウリの馬やナスの牛などを置かれる場合もあります。お茶やお水もお供えします。